

- (1) お手元の「開通のご案内」に記載の [DNS サービスオプションの URL] (<https://dns-editor.ocn.ad.jp/>)へアクセスします。

DNSサービスオプション	
ゾーン名 (正引き)	test.com
コントロールパネルURL	https://dns-editor.ocn.ad.jp/
認証ID	
認証パスワード	
プライマリDNSサーバ名	
プライマリDNS IPアドレス	
セカンダリDNSサーバ名	
セカンダリDNS IPアドレス	

アクセスする

- (2) [OCN DNS Hosting Control Panel]画面が表示されます。[Japanese Menu]をクリックします。

OCN DNS Hosting Control Panel

[Japanese Menu](#)
[English Menu](#)

クリックする

- (3) [DNS 機能 コントロールパネル I]画面が表示されます。「開通のご案内」に記載の必要情報を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

DNS機能 コントロールパネル

ヘルプ

OCNからの重要なお知らせ

■2015年10月08日よりコントロールパネルをリニューアルしました。

■ご利用推奨環境について
DNSサービスのコントロールパネルをご使用いただくための推奨ブラウザはInternet Explorer8、9、10、11、Firefox及びGoogle Chromeとなります。
それ以外のブラウザご利用の場合は、不具合が発生する可能性がありますのでご注意ください。
ブラウザの「戻る」ボタン及び「更新」ボタンは使用しないで下さい。

お客様のゾーン名、認証ID、認証パスワードを入力して下さい。

ゾーン名(必須)

認証ID(必須)

認証パスワード(必須)

キャンセル

ログイン

クリックする

ご利用ドメイン
認証 ID
認証パスワードを入力する
(ご利用内容のご案内に記載)

(4) [DNS 機能 設定メニュー]画面が表示されます。[レコード編集]ボタンをクリックします。

DNS機能 設定メニュー

ご利用状況

お客様ゾーン名	
最終更新日	May 21 16:06

レコード編集

画面上でレコードを追加・編集・削除します。

アップロード

CSV形式で作成されたゾーンファイルをアップロードします。

ダウンロード

ゾーンファイルをCSV形式でダウンロードします。

ロック解除

ファイル編集中にウィンドウ画面を閉じてしまう事で、上記の

クリックする

(5) [DNS 機能 レコード編集]画面が表示されます。

DNS機能 レコード編集

ご利用状況

お客様ゾーン名	
最終更新日	May 21 18:02

行	行の追加	行の削除	Name	Type	Data
1			\$TTL		86400
2			@	SOA	person root.CSRF.ad.jp.
3				serial	11
4				refresh	10800
5				retry	3600

(6) 画面をスクロールし、MX レコードの編集場合、Type が“MX”になっているものになります。

現在入力されている値を、「開通のご案内」に記載の値に書き換えます。

行	行の追加	行の削除	Name	Type	Data
1			\$TTL		86400
2			@	SOA	person
3				serial	27
4				refresh	10800
5				retry	3600
6				expire	604800
7	+			min ttl	86400
9	+	<input type="checkbox"/>	@	NS	ttl server ns6-tk01.ocn.ad.jp.
10	+	<input type="checkbox"/>	@	NS	ttl server ns6-tk02.ocn.ad.jp.
11	+	<input type="checkbox"/>	@	TXT	ttl text 3600 "MS=ms54859007"
12	+	<input type="checkbox"/>	@	MX	ttl preference server 3600 0 ocnpro22-jp01i.mail.protection.outlook.com.
13	+	<input type="checkbox"/>	autodiscover	CNAME	ttl host 3600 autodiscover.outlook.com.

【設定内容】

ホスト名（通常“@”）→Name の値

参照先のアドレスまたは値 → server の値（最後に“.”の文字が入っていることをご確認ください）

優先度 → preference の値

TTL（通常 3600）→ ttl の値

(7) レコードの入力完了後、serial 値を更新します。（(6)の画面の serial の箇所）

※serial の値は DNS レコードを編集する際に、既存の値から別の値に変更する必要があります。

ご入力の際は、半角数字で入力してください。

serial 

27

更新する

(8) [次へ]ボタンをクリックします。

次へ

キャンセル

登録及び変更内容を確認する画面へ移動します。

編集をキャンセルして設定メニューに戻ります。

クリックする

(9) 確認画面が表示されます。

DNS機能 登録/変更内容確認

ご利用状況	
お客様ゾーン名	
最終更新日	May 21 18:02

下記の内容を登録/変更します。内容に問題がなければ、登録ボタンを押してください。

ゾーンファイルの内容	
STTL 86400	
8	IN SOA (
12	
10800	
3600	
604800	
86400	
)	
	IN NS
	IN NS
WWW	IN A
8	IN SRV

(10) 内容をご確認いただき、画面下部の[登録]ボタンをクリックします。

登録

キャンセル

前画面に戻る

編集したゾーンファイルをDNSサーバへ反映します。

編集をキャンセルして設定メニューに戻ります。

前画面に戻ります。

クリックする

(11) [編集したゾーンファイルを DNS サーバへ反映しました。]と表示されます。

DNS機能 登録結果

ご利用状況	
お客様ゾーン名	
最終更新日	May 22 16:32

編集したゾーンファイルをDNSサーバへ反映しました。

ゾーンファイルの内容	
STTL 86400	
8	IN
12	
10800	
3600	
604800	
86400	
)	
	IN
	IN
WWW	IN
8	IN

なお実際に反映されるまでには、タイムラグがあり、その間は新旧のメールサーバーにメールが着信します。